

東北ハイテク研究会

ニュースレター (No.19 2018.4)

(東北食農ネットワーク T-FAN)



東北食農ネットワーク” T-FAN” 第19号をお届けします。

第19号では、東北ハイテク研が主催し、農研機構東北農業研究センターが共催して平成30年3月27日(木)に盛岡で開催しました『平成29年度産学連携セミナー』についてお知らせします。

セミナー開催のねらい

本セミナーは、地域創造を新たな視点から目指すチャレンジャーの方々が描く地域創造戦略計画を提案していただくとともに、大学・研究機関が開発した品種や栽培技術等のシーズとの出会いの場(プラットフォーム)を提供することを目指して開催しました。このセミナーには、多様な方々に気軽に参加していただき、未来の農業・農村とそれを支える技術を語るとともに、仲間・相談者のネットワークを広げることを目指しています。

本セミナーは、プログラムに示してありますように、3部構成として、ニーズとシーズの出会いの場作りを支援しています。

第1部 逸品交流会 参加者が開発した、もしくは地域自慢特産品の試食評価

東北農研が育成したもち小麦品種「もち姫」を配合したがんづき、同じく東北農研が育成したそば品種「にじゆたか」100%のそば、東北農研が育成した「ゆきちから麺」、FFC 農法で生産した「ひとめぼれ」、クイックスイートほしいも、等の試食評価を実施した。

第2部 産学連携のネットワークを広げる

岩手大学、東北農業研究センター、岩手県農業研究センターなどが育成した個性豊かな米、麦、ダイズ等の品種を紹介するとともに、盛岡型農業体験農園、米粉麺、「ゆきちから麺」の開発に取り組んでいる方々のチャレンジが紹介された。

第3部 地域農業の担い手の夢の実現戦略ーアグリ管理士からの提言

ここでは、岩手大学アグリフロンティアスクール平成29年度卒業生5名の卒業後のチャレンジを目指して策定した戦略計画を紹介していただき、参加者からのアドバイスをいただいた。

東北ハイテク研究会・平成29年度 産学連携セミナー資料
「地域創造をめざすチャレンジャーの取り組みと
多様な研究シーズとの出会い」

＜開催日時・場所＞

2018年3月27日（火）

開催時間：12:00～16:30

開催場所：農研機構 東北農業研究センター 北辰興農閣

＜交流の内容＞

12:00～12:05 セミナー開催の趣旨説明

門間 敏幸（東北ハイテク研事務局長）

第1部 逸品交流会（12:05～13:00）

参加者が開発もしくは地域自慢特産品の試食評価

- ・がんづき（阿部さん）
- ・藤田名人の10割そば（にじゆたかそば粉使用）
- ・ゆきちからそうめん（農事組合法人FS・クルー）
- ・FFC農法米（佐々木さん）、
- ・クイックスweetほしいも（海老澤さん）

第2部 産学連携のネットワークを広げる（司会：門間 敏幸）

13:00～13:15 話題提供1：今、麦・大豆・高アミロース米が面白い－
星野 次汪（岩手大学名誉教授 東北ハイテク研コーディネータ）

13:15～13:30 話題提供2：東北農研には面白い品種がいっぱい
佐藤 百合香（東北農研 産学連携室長）

13:30～13:45 話題提供3：低アミロース米（きらぼ）の利用可能性
小館 琢磨（岩手県農業研究センター技術部作物研究室）

13:45～14:00 話題提供3：盛岡型農業体験農園づくりにチャレンジ
大下 信子（ファーマンラボ代表）

14:00～14:15 話題提供4：米粉麺にチャレンジ
金野 弘美（農事組合法人となん）

14:15～14:30 話題提供5：「ゆきちから」で盛岡そうめんをつくる
藤村 勉（農事組合法人 FS・クルー 代表理事）

14:30～14:45 ネットワーク拡大の意見交換

第3部 地域農業の担い手の夢の実現戦略－アグリ管理士からの提言（司会：児玉 勝雄）

15:00～15:15 スマート農業とFFC農法米で集落農業を活性化
佐々木 昭英（矢巾町 アグリ管理士）

15:15～15:30 農協女性部の活動から地域のイノベーションを目指す
阿部 美智子（花巻市宮野目女性部代表 アグリ管理士）

15:30～15:45 65歳からのむらおこし－
鈴木 武男（花巻市横志田地区 アグリ管理士）

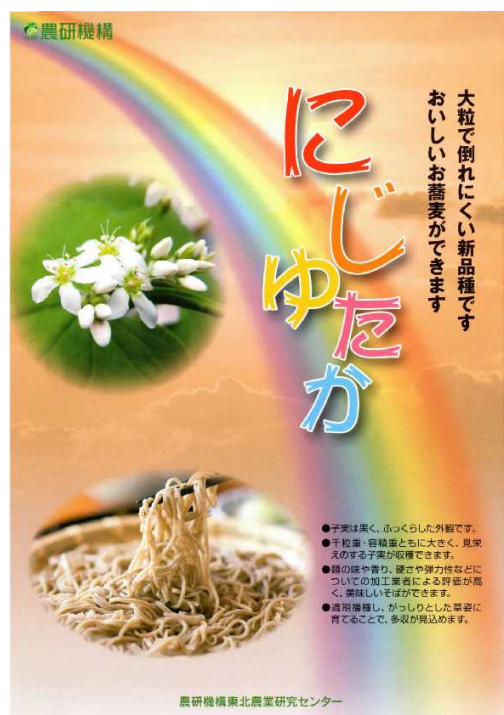
16:45～16:00 都市化地域の農と農地を守る
海老澤 愛（滝沢市農業委員会 アグリ管理士）

16:00～16:15 久慈市山根地区の活性化を目指して
清水 勇（久慈市地域おこし協力隊）

16:15～16:30 意見交換－夢の実現に向けて



産学連携セミナー風景



育成のねらい

東北地域では全国の作付面積の30%近い面積でソバが栽培されており、重要な産地となっていますが、収量性が低いことが大きな問題となっていました。また、転作作物として水田転換畑で広く栽培されるようになり、作業の機械化が進んでいますが、ソバは簡単に倒伏するため、収量の低下や、収穫作業効率が落ちるなどの難点がありました。そこで、耐倒伏性で栽培しやすく、収量の良い、東北地域向けソバ品種「にじゆたか」を育成しました。

栽培上の留意点

- ・主に東北地域の夏播き栽培に適する品種ですが、東北地域以南でも栽培は可能です。
- ・耐湿性は強化されていないため、畑の排水対策に努め、湿害回避を徹底してください。
- ・耐倒伏性ですが窒素過多は倒伏を誘発するので、適正な施肥量により栽培してください。
- ・播種の遅れ、収穫の遅れは低収につながりますので、適期に播種・収穫してください。
- ・品種特性を維持するため、ほかの品種と交雑しないよう隔離採種するとともに、計画的に種子更新してください。

品種の活用面

- ・加工適性・食味について良い評価を得ていますので、実需ニーズに合うそばを出荷できます。また、地域特産物として6次産業化に活用することもできます。

栽培特性 及び 品質特性



「にじゆたか」と「階上早生」の耐倒伏性の差
(育成地、2010年9月6日撮影)

にじゆたかの子実



大粒で黒く、千粒重は約36g、容積重は約630gと外観が良い。

「にじゆたか」の生育および品質特性(東北農研センターにおける5年間の試験成績平均値)

品種名	収量 (kg/a)	草丈 (cm)	倒伏 程度 ¹⁾	生育期間 (日)	千粒重 (g)	容積重 (g/ℓ)	そば粉 白度 ²⁾	味 ³⁾	香り ³⁾
にじゆたか	19.7	121	1.0	69	36.2	631	71.6	5.8	5.3
階上早生	19.0	111	2.3	65	30.9	605	69.9	5.0	5.0

1) 6段階評価、0:無~1:微~2:少~3:中~4:多~5:甚

2) ロール製粉、色相(湿式)測定に基づく値 (2009~2010年東北農研センター産の実需評価平均値、以下同じ)

3) ロール製粉・機械製麺(そば粉4割)による官能評価。標準を5点とし、香り、味(甘み)が良ければ加点。

《種子の入手に関するお問い合わせ先》

東北農業研究センター 企画部 産学連携室 産学連携チーム
電話.019-643-3443 FAX.019-643-3588

《利用許諾に関するお問い合わせ先》

農研機構 連携広報部 知的財産課 種苗チーム
〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1 電話.029-838-8233 FAX.029-838-8905

品種に関するお問い合わせは

農研機構東北農業研究センター 企画部 産学連携室まで

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4

電話.019-643-3414 FAX.019-643-3588

メール. www-tohoku@naro.affrc.go.jp <http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/>

東北農研

検索

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。